すこやか健保 2015 年 3 月号

今月の主張

世界が注目する日本の皆保険制度
各国が抱える課題解決の先駆け
―「クール・ジャパン」の試金石に―

「クール・ジャパン」という言葉を聞いたことがある方も多いと思います。漫画やアニメ、ゲーム、ファッション、音楽といったポップカルチャーから、世界無形文化遺産にも登録された「和食」、伝統芸能や美術、技術など、数多くの日本の文化が世界の注目を集めているようです。海外からみた「日本」はどのように映っているのでしょうか？ メディアを通じ、見聞きする機会も増えてきました。なかには、思わず突っ込みたくなるような突然変異した“文化”もありますが、それも異文化同士の交流による進化なのかもしれません。

日本の優れた「もの」を、どんどん世界に発信していく。そうした活動も政府の政策として進められています。私たちが当たり前のように医療を受けることができる「医療保険制度」もその１つです。

本紙２月号の小欄でも「国民皆保険制度」の仕組みをとりあげましたが、すべての国民が公的な保険を使って安心して医療を受けられる「皆保険」を採用している国は、世界のなかでは少数派です。

世界最先端の医療技術を誇るアメリカも高齢者や貧困層を対象とする公的な医療保険はありますが、ほとんどは民間の医療保険に加入しています。救急車も行政（消防庁）が一括管理する日本と異なり、多くは民間会社が運営しており、利用料も請求されます。利用料は州や地域、運営会社で変わりますが、１回 50 ドル程度から、高いケースは 600 ドルにものぼるそうです。

民間保険が根付くアメリカでは、公的医療保険の加入者も国民の６人に１人にとどまり、皆保険を広める目的のオバマケア（オバマ大統領の医療保険制度改革）も思うように進んでいないのが現状のようです。

すべての国民が保険に加入し、必要なときに医療を受けられ、医療費の多くを保険がカバーしてくれる。これは、実に難しいことなのです。

ＷＨ0（世界保健機関）が「すべての人が適切な予防、治療、リハビリなどの保健医療サービスを、必要なときに支払い可能な費用で受けられる状態」と定義する「ＵＨＣ（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）」と呼ばれる活動が進められています。ＵＨＣの実現は、2012 年 12 月の国連総会で国際社会の共通目標として決議され、日本も諸外国への支援と貢献を打ち出しました。日本の皆保険制度を広く普及する活動もその１つです。

実際、東南アジア諸国などを中心に、日本を参考にしたいと考えている国は多いようです。一方で、日本の仕組みをそっくりそのまま“輸入”することには慎重な見方も少なくないということです。

日本は、世界の先頭に立って人口の高齢化が進み、これに伴い医療費の増加が続いていますが、こうした姿は多くの国々の近い将来でもあるからです。日本が抱える医療費の伸びを抑え、誰が、どのように負担するのかという問題も共通です。

日本の進む方向を海外が注目しているなか、近く国会で医療保険制度改革法案の審議が始まります。私たちは、本当に世界に誇れる、「クール（カッコいい）」な皆保険制度をめざした真剣な議論が行われることに注目したいと思います。

すこやか健保 2015 年 3 月号

けんぽ単語帳　最終回

高額療養費制度

私たちは公的な医療保険に加入することで、病院の窓口などの支払いが安く抑えられています。とはいえ、手術や入院などで、高額な医療費がかかった場合や重い病気で治療が長引いた場合などは、自己負担も高額になってしまいます。こうした高額な医療費がかかった際、加入者の自己負担を軽減するための仕組みが「高額療養費制度」です。

高額療養費制度を利用すると、ひと月（1 日から 31 日まで）の自己負担が一定の金額（自己負担限度額）を超えた場合、自己負担限度額を超えた額が「高額療養費の支給」という形で保険者から払い戻されます。

原則、高額療養費の支給は、一旦医療機関や薬局の窓口で自己負担を支払い、後で健保組合などの保険者に高額療養費の支給を申請して払い戻してもらう「償還払い」という方式です。ただし、治療を継続されている人など、事前に高額な医療費の発生が見込まれる場合は、あらかじめ、加入している保険者に「健康保険限度額適用認定証」の交付を申請し、認定証を窓口で提示することで、ひと月の支払額を自己負担限度額までに抑えることができます。

埋葬料（費）、家族埋葬料

「埋葬料」は、業務外の理由で被保険者が亡くなった際に、埋葬に要する費用の一部（５万円）を支給する制度です。

支給対象者は、被保険者により生計を維持されていた人で、埋葬を行う人とされています。

なお、生計を維持されていた人がいない場合は、埋葬を行った人に対し、埋葬に要する費用（埋葬料の範囲内）が、「埋葬費」として支給されます。

被扶養者が亡くなった際は、被保険者に対し、「家族埋葬料」（５万円）が支給されます。

すこやか健保 2015 年 3 月号

COML［電話相談の現場から］vol.118

包括医療費の支払い

【相談】

93 歳の義母は、15 年ほど前から特別養護老人ホーム（以下、特養）に入所していました。私は実母が早くに亡くなったので、かわいがってくれた夫の母である義母に精一杯尽くそうと、5 年前に夫が心筋梗塞で亡くなった後も、週に数回面会に通っていました。

その義母が 2 カ月前、発熱のため特養の判断で系列病院に運ばれました。入院しておこなわれた検査で、すい臓がんであると診断されたのです。ドクターからは「ご高齢なので、手術や抗がん剤といった積極的な治療は体力がもたないと思います。このまま入院して経過を見ていきましょう」と言われました。

その後、私は毎日のように義母の面会に通ったのですが、看護師の対応は悪いし、とてもすい臓がんの患者を診ることのできる病院とは思えませんでした。そこで、自分で探してきた病院に無理やり 1 カ月前に転院させたのです。

その後、特養の系列病院から医療費の請求があり、その明細書を見ると、ほとんど何の治療もおこなわれていないのに、とても高額な点数が書かれていました。治療も看護も不十分なのに、なぜあんな高額な請求が可能なのでしょうか。

【コメント】山口育子（ＣＯＭＬ）

納得いかないとおっしゃる医療費の領収書や明細書を FAX 送信していただき、その内容を確認してみました。

相談者のお義母さんが入院していたのは「療養病床」と呼ばれる病棟で、その基本料金として「療養病床入院基本料」が請求されています。この点数はさまざまな条件次第で点数が分かれているのですが、共通しているのは一定の検査、点滴、薬などの費用が基本料金の中に包括されているということです。そのため、検査や点滴、薬の投与を受けても、受けなくても点数は同じなので、ほとんど検査や治療を受けない場合は、どうしても割高感が残るのです。最近は、このような包括請求が増えてきています。過剰な検査や投薬、治療を防ぐためでもあるのですが、今回のご相談のように支払う側には矛

盾を感じる場合もあります。納得のためには、まずは仕組みを知るところから始める必要があります。

すこやか健保 2015 年 3 月号

離れて暮らす親のケア［いつも心は寄り添って］ vol.36

NPO 法人パオッコ ～離れて暮らす親のケアを考える会～ 理事長 太田差惠子

ひとり暮らしの限界は？

老親がひとりで暮らしている場合、子の心配は募ります。いったい、いつまでひとり暮らしが可能なのだろう…、と。

ひと昔前は、80 代でひとり暮らしと聞くと、「おひとりで大変」と思ったものです。しかし、今や 80 代どころか 90 代で元気にひとり暮らしをしている方に出会うこともあります。可能かどうかは、年齢だけでなく、健康状態、地域の人々との交流の有無にもかかってきます。

Ｔ男さんの母親（93 歳）は故郷の実家でひとり暮らし。周囲にはお友達も多く、「この家で暮らし続けたい」が母親の口癖。ところが、正月に帰省したところ、キッチンに黒焦げの鍋が 3 つ置かれていたそうです。ガスコンロをＩＨクッキングヒーターに交換することも提案しましたが、母親は「今さら、替える気はない」と言います。「火事を出したら、ご近所にも迷惑を掛けます。母にサービス付きの高齢者住宅に移ることを勧めているところです」とＴ男さん。

本人の意思を応援することは大切です。しかし、火事の心配が生じたり、食事を食べていない様子があったり、あるいはひとりでトイレに行くことが難しくなればそろそろ限界なのかもしれません。危険だからといって、急に火事の心配のない設備を導入しようとしても、使いこなせない可能性も。安全な設備に交換するのは、元気なうちが基本。

担当のケアマネジャーがいる場合は、「親のひとり暮らしが難しくなったら、言ってくださいね」と声掛けしておくのも一案です。

すこやか健保 2015 年 3 月号

温泉ｄｅ健康に vol.36
温泉と宿のライター　　野添ちかこ

第 36 湯　強羅温泉（神奈川県箱根町）
木肌のぬくもりであったか

　皇族や財閥の別荘地として栄えた箱根・強羅温泉に昨年 12 月、「強羅花扇 円かの杜」がオープンした。
　飛騨高山に本拠地を置くグループの５軒目の宿で、ぜいたくな無垢の木材とＡ５ランクの飛騨牛が自慢。
　玄関に入ってすぐのチェックインカウンターは厚さ 20 ㎝はあろうかという樹齢２７００年の神代ケヤキ。ロビーや客室にも造作の異なるテーブルが置かれていてほかにはない佇まいだ。
　まずは岩盤浴（予約制、有料）へと向かう。じんわりと汗をかけば、免疫アップにも効果的。
　さらに温泉は、このクラスの宿では珍しく、２本の自家源泉をかけ流し。大浴場は浮遊浴、半身浴ができるように深さを変え、さらに「ぬる湯」「あつ湯」と浴槽ごとに異なる温度設定にするというこだわりよう。
　箱根の森に囲まれて、夜も朝も温泉三昧。温泉と木の癒し効果で心も体もホカホカになる。料金は１室２名利用で１人４万１５０円～。繊細な味わいの懐石料理と静かに流れる時間のなか、ワンランク上の休日を過ごしたい人におすすめしたい宿だ。

温泉ＤＡＴＡ
泉質：ナトリウム-塩化物・硫酸塩泉
特徴：客室の湯は口に含むと塩辛く、つるつる感もある
強羅花扇 円かの杜　TEL:0460-82-4100

すこやか健保 2015 年 3 月号

追ってけ！カルチャー vol.48

津田　麻紀子

全国に広がる持続可能な暮らし
ートランジション・タウンー

友人に連れられて、「トランジション藤野 1day ツアー」に参加した。トランジションとは「移行」を意味する英語で、石油を大量に使う社会システムから、限りある地球資源を意識し身の丈にあった暮らしへ、地域の仲間と協力しながら移行しようという市民運動だという。

トランジション藤野は、2008 年に神奈川県旧藤野町（現：相模原市緑区）で立ち上がったコミュニティ活動。藤野は JR 中央線で東京から約 1 時間。都心からも意外と近く、山と湖に囲まれた自然豊かな土地だ。

そもそもトランジション・タウンの運動は 2005 年秋にイギリス南部のトットネスで始まった。全体説明を担当した榎本英剛さんによれば、「市民が自らの創造力を発揮しながら地域のレジリエンス（底力）を高めることで、持続不可能なシステムからの脱依存を図るための実践的な提案活動」だという。

少し難しいが、トランジション藤野の Facebook ページには「足もとにある豊かさや地域にあるものを見つめて、みんなでつながりながら楽しく暮らすコミュニティ」とあるので、こちらのほうがイメージは掴みやすいかもしれない。

この日のプログラムは自己紹介、全体説明、地域通貨よろづ屋の説明を経て、個別の活動（地域チキンの会、お百姓クラブ、森部、藤野電力）場所を見学。

地域通貨よろづ屋はお互いにできることや欲しい物を交換し、その取引を通帳に記帳していく“おたがいさま”活動。自分ができることは何か考えるのも楽しい。地域チキンの会では鶏を飼育し、お百姓クラブでは文字通り農業を、森部では森林の整備を“趣味の範囲”で行っている。これ以外にも、いくつものグループが活動しているそうだ。

町のあちらこちらに、自分たちでできることはやってみようというグループが立ち上がり、それぞれが緩やかにつながって連携をとっているという印象を受けた。大人のクラブ活動のようで楽しそう。

　実はトランジション・タウン、世界4カ国1130市町村1万地域に広がっており、日本国内に54カ所（準備中含）もあるという。自然を大切に、地に足のついたエコな生活を実践する人が増えているようだ。

特定非営利活動法人 トランジション・ジャパン
http://transition-japan.net/
日本におけるトランジション・タウン運動の普及・啓発、ネットワークサポートなどを行っている。HPにはイベント情報のほか、各地の活動団体へのリンク集もある。